



南会津高校進路だより

羅針盤 (12月号)

第94号

2018年12月3日

進路指導部・発行

入試速報！福島大3名合格

国公立大学の推薦入試の合格発表が続々行われている。11月29日には福島大学の合格発表が行われ、本校から男子3名が見事合格を果たした。特に行政政策学類への合格は近年記憶にない朗報だけに本校としては大変うれしい結果である。改めて努力・チャレンジすることの大切さと難関突破のすばらしさを実感させられた。今後合格発表が行われる大学についても、一人でも多くの朗報を願うばかりだ。

<国公立大学合格者>

(11月30日現在)

☆福島大学	人文社会学群	行政政策学類	布沢	胤乃	(3の1)
☆福島大学	人文社会学群	経済経営学類	中丸	瑠偉	(3の2)
☆福島大学	理工学群	共生システム理工学類	目黒	冬馬	(3の2)

3年生の進路先が続々決定！推薦入試もすべて終了

12月に入り、3年生の進路先の決定も徐々に増えてきた。現時点では、3年生50名中35名が合格内定。内訳は下記表のとおり、国公立大3名、私立大9名、公立短大1名、専門学校20名、就職2名である。進路決定はうれしいものの、進路内定者は、「後の態度」が大事である。卒業まで「学ぶ姿勢とけじめのある生活」を貫いてほしいものだ。本年度の3年生も、第一志望にこだわり、国公立大学への積極的な挑戦をした受験生が多く、上を目指してのチャレンジ精神は実に立派だった。たとえ結果に結びつかなくても、より難関をめざして挑戦したことは人生の大きな経験・財産となる。挑戦しての不合格なら、一時のくやしきはあっても一生のくやしき・後悔にはならない。来年の2年生にも、この“挑戦する強いモチベーション”を期待したい。

3年生進路決定状況

(11月30日現在)

進路先	四年制大学		短期大学		専門学校		就職		合計	在籍
	国公立	私立	公立	私立	看護系	一般	法人	公務員		
人数	3	9	1	0	7	13	2		35	50

さあ、受験生はここから本番！焦らずベストな結果をめざして頑張ろう！

残るは大学・短大・専門学校、公務員・就職希望者のあと15名となった。ただ、15名はけっして焦ることはない。結果が出るまでは、風邪に注意しながらやるべきことを（センター・一般入試の受験勉強、公務員就職試験の勉強）着実にこなしていくのみ。また、勉強はもちろんのこと、綿密かつ用意周到な受験スケジュール（併願校の日程等）を立てることがベストな結果を出す鉄則である。

センター試験・私大入試迫る！受験生の合格を祈る

あとおよそ50日でセンター試験（1月19日・20日）、1月末から2月には私大入試と、いよいよ受験本番の時期を迎える。センター試験には本校から21名が受験する。入試は「1点に笑い1点に泣く」たった1点が人生を大きく左右する。1点の重みを大切に食欲に挑んでほしい。この時期の受験生の心がまえとして大事なことは3つ。まず第一に健康管理！第二に弱気にも強気にもなりすぎない用意周到な受験スケジュールの作成！第三に1点にこだわった基礎固めの総復習！決して焦ることなく「人事を尽くして天命を待つ」やれるだけの準備と勉強をして結果を待つのみだ。受験生全員の合格を心から願っている。また、推薦入試合格者は、受験生と同様に本気で勉強して、センター試験に臨むことが極めて重要。それが進学先の大学と本校受験生に対する最低限の礼儀と気配りである。

1・2年生への教訓～今年度の推薦・AO入試より

国公立大合格の前提条件は、完成度の高い志望理由の作成

本年度も、進学希望者46名（大学・短大・専門学校）のほぼ全員が推薦・AOで受験している。よって、本校では第一志望の突破には、推薦・AO入試が大きなカギを握ると言って過言ではない。特に、国公立大入試に挑戦する場合は、早めに戦略を練り準備しないと合格は遠のく。国公立大推薦・AO入試突破の第一の前提条件は、志願書における試験官を納得させるだけの明確な志望理由の作成とそれをふまえたプレゼン能力である。また、表現力・基礎学力・人間力という地力も必要だ。面接での話す力、小論文での書く力という地力が備わっていないと合格は厳しい。しかも、面接・小論文いずれも、知識教養の裏付けがないと完成度は低く高評価を得られない。地力向上には、やはり日々の学習習慣と読書習慣がモノを言う。受験前の短時間の付け焼刃では、到底身につかない。さあ、今日からコツコツと時間をかけて実力を定着させ、地力を蓄えよう。